

2022年12月19日

一般社団法人 全国スーパーマーケット協会 御中

全国農業協同組合連合会、ホクレン農業協同組合連合会
日本園芸農業協同組合連合会、全日本トラック協会
日本パレットレンタル株式会社、三甲リース株式会社
全国中央市場青果卸売協会、全国青果卸売市場協会

青果物流通におけるレンタルパレット循環利用に向けたご協力のお願い

拝啓 平素は格別のご高配にあずかり、厚く御礼を申し上げます。

さて、国内の物流現場においては、担い手不足が深刻化しており、運送業においても、2024年度からトラックドライバーの時間外労働の上限規制が罰則付きで適用されることから、労働力不足に拍車がかかると予想されております。

このことは青果物流通においても大きな影響があり、北海道・東北や九州地区を始めとした産地が、遠隔消費地まで商品を輸送できなくなる危機に瀕しており、モーダルシフトやストックポイント活用による中継輸送などの対策が各地で検討されております。

この動きに合わせて、昨年9月に農林水産省主催で青果物流通標準化検討会が設置され、出荷者団体、青果物流通関係者、運送会社団体、行政関係者が参画した中で（別紙1）、広域間の物流を効率化するための共通ルール・体制の構築が検討されており、今年4月に標準化ガイドライン骨子（別紙2）と今後検討すべき課題（別紙3）が打ち出されました。

特に、青果物流通を持続するためにはパレット導入による手荷役の削減が不可欠であり、ガイドライン骨子の中でも、標準サイズ（11型）のレンタルパレットを基本とした循環体系の構築と適切な管理が必須であることを、すべての青果物流通業者の共通認識として意識醸成していくことが掲げられております。今後は、市場から先に搬出されるパレットの循環体制・ルールについて検討される予定で、一部、産地から物流センター等に直送される商品については、先行してレンタルパレットによる納品が始まっている状況です。

このパレット循環体制の構築に当たっては、パレットの回収率の向上が何よりも重要であることから、今後は、産地や卸売市場又はレンタルパレット業者から貴協会会員の物流センター等におけるレンタルパレット回収についての協力依頼（別紙4）が展開されるところであり、貴協会におかれましては、青果物流通における持続的な物流確保には、レンタルパレットの循環利用が必要不可欠であることをご理解いただき、貴協会会員の皆様にもご理解とご協力をいただけるよう周知いただくようお願い申し上げます。

敬具

(別紙1)

青果物流通標準化検討会 構成員

(敬称略、順不同)

<出荷団体>

三木 純一 全国農業協同組合連合会 園芸部長
戸田 弘二 ホクレン農業協同組合連合会 物流部長
二藤 努 日本園芸農業協同組合連合会 業務部長

<卸売団体>

泉 英和 一般社団法人全国中央市場青果卸売協会物流部会長
(東京青果株式会社 専務取締役)
月田 求仁敬 一般社団法人全国青果卸売市場協会 会長

<物流事業者>

馬渡 雅敏 公益社団法人全日本トラック協会 副会長

<行政>

平澤 崇裕 国土交通省総合政策局 物流政策課 課長
日野 祥英 国土交通省自動車局 貨物課 課長
宮浦 浩司 農林水産省大臣官房新事業・食品産業部 部長
武田 裕紀 農林水産省大臣官房新事業・食品産業部 食品流通課 課長

【オブザーバー】

全国青果卸売協同組合連合会
農林水産省農産局 園芸作物課
農林水産省農産局 果樹・茶グループ
経済産業省 商務・サービスグループ 物流企画室

(別紙 2)

1. 青果物流通標準化ガイドライン骨子 (案)

パレット循環体制

番号	項目	内容
1	サイズ	<ul style="list-style-type: none">原則 1,100mm×1,100mm (以下「標準パレットサイズ」という。)パレット化の推進に当たっては、手荷役を減らすことを基本としつつ、業種横断的なパレットの標準化の動向を踏まえ、二重投資によるコスト増にならないように留意すべき。
2	材質	<ul style="list-style-type: none">木製パレットと比較してプラスチック製パレットは次に掲げる点に優位性があるため、プラスチックを推奨する。<ul style="list-style-type: none">① 衛生的であること② 耐久面に優れていること③ リターナブルであること④ リサイクル利用が可能であること⑤ 寸法精度の均一性が高いこと⑥ パレット重量が軽量であること
3	仕様 (片面/両面、 二方差/四方差 等)	<ul style="list-style-type: none">業種横断的なパレットの標準化の動向を踏まえ、検討を続ける。

パレット循環体制 (つづき)

番号	項目	内容
4	運用	<ul style="list-style-type: none">標準パレットサイズのパレットの利用から回収までの運用はレンタルを基本とし、市場間転送の実態や業種横断的なパレット標準化の動向等を踏まえて引き続き実行性の高いパレット循環体系の構築に向けて検討を続ける。青果物流通を持続するための変革にはパレット循環体系の構築が必須であり、適切なパレット管理が不可欠であることをすべての青果物流通業者の共通認識となるよう、検討会参加者全員が連携して意識の醸成に努める。パレット循環体制を構築するため、パレット情報等の情報共有システムを構築し、導入を推進する。

場内物流

番号	項目	内容
1	場内物流改善推進体制の構築	<ul style="list-style-type: none">開設者・施設管理者を中心に、卸売業者、仲卸業者等市場関係業者が構成員となって、場内物流改善体制を構築し、場内におけるパレット管理、共用部における荷下ろし・荷捌き・荷積みの秩序形成、法令や契約・約款等を遵守した業務遂行の徹底に取り組む。あわせて、特定産地でのパレット運用が始まる時は、パレット循環体制を検討するため、当該産地、市場関係者、パレットサプライヤーによる協議体制を構築する。農林水産省は、卸売市場における好事例の収集・共有するとともに、開設者の活動に対し積極的に関与する。
2	トラック予約システム	<ul style="list-style-type: none">場内の荷下ろしスペースへの円滑な誘導を行い、荷下ろし待ち時間を削減するため、導入効果を検証も行いながらトラック予約システムの導入を推進する。

※コード・情報分科会、外装サイズ・表示分科会に関するガイドラインは割愛してあります。

(別紙 3)

2. 分科会で検討すべき事項の対応状況・今後の取組

分科会 I ; パレット循環体制

検討すべき事項	対応状況・今後の取組
1. パレット循環体制構築に向けた現状把握と目標設定 <input type="checkbox"/> JA、卸売市場に対し調査を行う手法等の検討 ※ 官民物流標準化懇談会のパレット標準化推進分科会における分野別パレット化率把握の取組と強調 <input type="checkbox"/> 卸売業者のパレット輸送を含めた物流に関する意識調査 <input type="checkbox"/> トラック事業者へのアンケート調査 <input type="checkbox"/> 青果物流通におけるパレット化率の KPI 設定や測定方法に関する検討(追加)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 卸売業者、仲卸、産地（JA）を対象にパレットの導入状況や卸売市場内の物流等に関する青果物流通実態調査を実施。 【資料 5】青果物流通実態調査の結果報告（卸売市場物流の結果概要） ・ 1月に食品流通課職員による大田市場におけるパレット導入の定点観測調査を実施。令和4年度以降も季節ごとに継続調査を行うとともに、他市場でも実施する予定。 【資料 6】パレット導入状況に関する定点観測調査の結果報告 ・ 業種横断的な物流標準化について議論を行っているパレット標準化推進分科会において、23業種に対する業種横断的なパレット実態調査を実施予定。青果物分野は全農、ホクレン、日園連に協力依頼。 ・ 市場開設者に対して場内物流等に関するアンケート調査を実施。 【資料 7】青果物卸売市場における場内物流等アンケート調査（結果概要） ・ 全日本トラック協会にご協力いただき、物流事業者に対して青果物流通に関するアンケート調査を実施。令和4年4月以降実施し、7月頃に取りまとめ予定。 【資料 8】物流事業者に対する青果物流通に関するアンケート調査票 ・ 上記の実態調査を踏まえて、青果物流通におけるパレット化率の KPI の目標設定や測定方法等について、秋頃を目途に検討する。

分科会 I ; パレット循環体制（つづき）

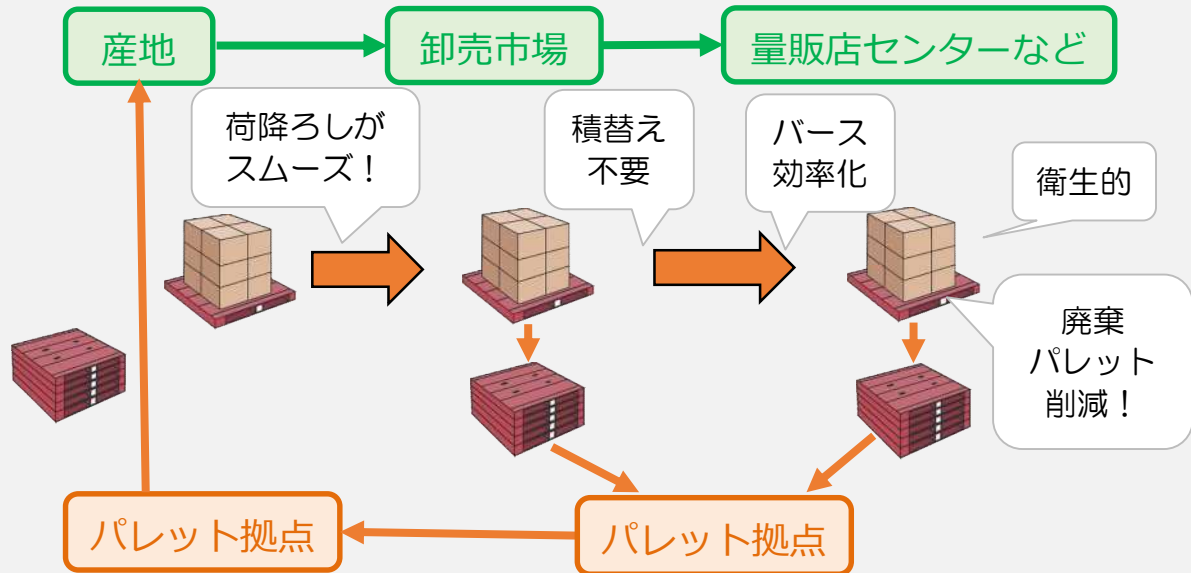
検討すべき事項	対応状況・今後の取組
2. パレット循環体制導入に向けた実証を行う品目・地域の選定 <input type="checkbox"/> みかん産地へのパレット導入の拡大 <input type="checkbox"/> りんご産地へのパレット導入 <input type="checkbox"/> 果樹の複数品目産地へのパレット導入 <input type="checkbox"/> 現在取組を進めている野菜産地での選果場・品目の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度「農産物・食品の物流標準化委託事業」を活用し、左記の品目及び地域において、実証試験を実施し、実証結果を踏まえて手順書を整理。
3. 長尺ものや定数詰めのものなどのパレット化・積み付けパターン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青果物におけるパレット標準化の進捗状況や業種横断的なパレットの標準化の動向を踏まえ、トータルコストや持続性の観点から検討。
4. 転送等を前提としたパレット循環体制ルールの再検討	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標準パレットサイズのパレットの利用から回収までの運用はレンタル次を基本とし、市場間転送の実態や業種横断的なパレット標準化の動向等を踏まえて引き続き実行性の高いパレット循環体系の構築に向けて検討を続ける。
5. IT の活用によるパレット循環に係るコストダウンの検討・検証	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食品等流通持続化モデル事業を活用したシステム実証の成果や他の業種の状況などを調査し、引き続き検討する。
6. パレット循環体制の効果と費用負担のあり方 <input type="checkbox"/> パレット導入によるメリットの整理	<ul style="list-style-type: none"> ・ パレット導入を行った品目・地区及び実証を行う品目・地区や卸売市場等のメリットの定量的な整理を行う。 ・ パレット化により手荷役をなくした先行事例を整理する。 ・ 費用負担に関する他の業種の状況を調査する。

※場内物流分科会、コード・情報分科会、外装サイズ・表示分科会に関する検討すべき事項は割愛してあります。

青果物のレンタルパレット輸送の増加と循環利用に向けたご協力をお願い

◆レンタルパレットの必要性と課題

農水省主催の青果物流通標準化検討会では、トラックドライバーの残業時間規制が始まる2024年に備え、青果物のレンタルパレット輸送を流通標準化ガイドラインに示しており、今後使用する産地が増えてくる予定です。物流従事者にも環境にも優しい、レンタルパレットの循環利用にご理解とご協力をお願いします。



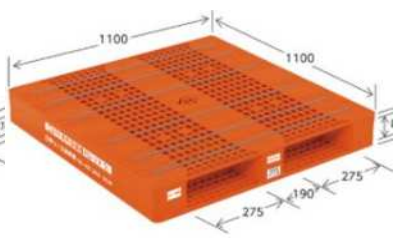
◆レンタルパレット循環利用に向けたご協力をお願い

1. レンタルパレットでの荷受にご協力ください。荷受け後の空パレットは、レンタル業者が回収いたします。詳細はレンタル業者がご相談に伺います。是非、前向きにお話を聞いてください。
2. 空パレットがございましたら、レンタル業者にご連絡ください。

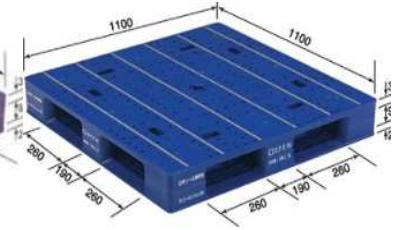
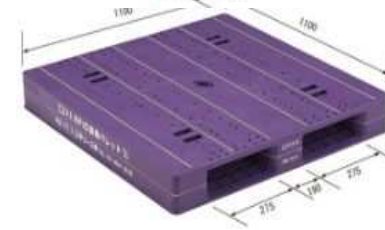
日本パレット
レンタル
(JPR)



三甲リース
(SPR)



木製



全国農業協同組合連合会、ホクレン農業協同組合連合会、日本園芸農業協同組合連合会
全日本トラック協会、全国中央市場青果卸売協会、全国青果卸売市場協会

レンタル業者 { 日本パレットレンタル(株) 担当：幸福、池田 連絡先：03-6895-5203
 三甲リース(株) 担当：中島 連絡先：03-4212-3535